

## 令和3年度

### 第3回草津市立認定こども園園名等選定委員会 会議録

■日時:

令和3年12月7日(火) 10時00分～12時00分

■場所:

草津市立市民総合交流センター(キラリエ草津)3階 303会議室

■出席委員:

森 枝美委員長、森 邦博副委員長、川井委員、中谷委員、馬場委員、松田委員

■欠席委員:

矢守委員

■関係人:

矢倉幼稚園 森園長

■事務局:

子ども未来部:黒川副部長、前田副部長

子ども・若者政策課:松永課長、門田課長補佐、大岡主任

幼児課:山際課長、駒井係長

■傍聴者:

0名

#### 1. 開会

---

【委員7名中6名の出席をいただき、事務局より開会を宣言】

## 【委員長】

今日の委員会では、前回皆様と議論しました、園章候補の最優秀賞、優秀賞の選定を行います。また、委員会から市長に提出する答申書の案についてもご意見をいただきますので、皆様から忌憚のないご質問やご意見、また、慎重かつ丁寧なご審議をいただきますよう、お願いいたします。それでは、議事に移らせていただきます。

## 2. 議事

---

### (1)第3回委員会における園章の選定方法について

#### 【事務局】

<資料1について説明>

#### 【委員長】

ただ今の説明についてご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。また、欠席委員の票の取り扱いについて、参考とするのか、投票に加えることとするのかについて、ご意見、ご質問等ございましたら、お願いします。

(委員 異議なし)

#### 【委員】

同意があればよいということなら、せっかく、今までやってきていただいたので、欠席委員の票は、投票に加えたらよい思います。

(他委員 賛同)

#### 【委員長】

私も異議はございませんので、欠席委員の票を投票に加えるということによろしく申し上げます。また、選定方法について、ご異議がございませんので資料のとおりとしたいと思います。それでは、次の議事に移りたいと思います。

## (2) 園章の選定について

### 【事務局】

<資料2、参考資料1について説明>

### 【委員長】

ただ今の説明について、ご意見、ご質問等ございましたら、お願いします。

(委員 異議なし)

### 【委員長】

それでは、各園の候補作品について、各委員で検討いただいているかと思えます。資料2の園章案について、おひとりずつご意見をお聞かせください。

今回、修了証書の中に園章が入った参考資料を添付していただいています、ここに入ると印象が変わるなど、というのが第一印象でした。そうした時にPTAからの意見を見ていたのですが、この園章を遠くから見た、園旗になった時の印象と、修了証書で見た印象、どちらを優先するかなということが、自分の中で悩みが出てきたところです。PTAの皆さんからの意見も参考にした時に、委員会の中で1位に選定した3つの輪が繋がっている131番の作品は、「分かりやすいが交通標識のように見えた」というご意見があって、「あっ、そういう風にも見えるのか」と思ってみせていただけていました。2位の「子どもたちが手を繋いでいる」というのも説明がないと分かりにくいのではないかというご意見もいただけていて、どのように判断していったら良いか、意見を見ながら悩んでいます。他の委員の皆様、あらためて修了証書に入った時の園章と、PTAの皆さんからのご意見を見て、どのように感じられたか、聞かせていただけたらと思います。

### 【委員】

私も、遠くから見て見やすいということと、とても重視していたのですが、よく幼稚園から貰うピンクの封筒、参考資料1の一番下の封筒ですが、園のマークが入っていて、それは目につくと思います。外で見るとシンプルでないと、何を描いているのかわからないかなと思いました。作品番号35番は、すごく立派でいいですが、シンプルではないかなと思います。「やぐらこどもえん」はとても目立つのですが、小さい紙になった時に見にくいかなと思いました。

あとは、皆さん矢倉に愛着を持っておられるので、「こどもえん」だけだと、どこのこども園なのか

わからないという意見もありましたので、「やぐら」の文字も入っている方がいいのかなという意見もたくさんあり、私もそう思っているのですが、何に重きを置いて、このマークを1番に決めるのがとても難しく、私もまだ悩んでいます。

#### 【委員】

矢倉こども園の園章候補一覧表を見て、応募者の作品に込めた思いというのは、前回で我々もよく認識しています。特にPTAさんの意見を重要視しながら、1位から3位まで決めておりますが、この中で素晴らしいところはよいのですが、今言われた「交通標識に見えた」、「説明されないといけない」、「7番の「白抜きは、遠くから見にくい」、44番の「フォントがもう少し太いとより分かりやすい」、「作品の思い以上に園章がシンプルに思えた」、46番の「色々な思いを前提に考えられているとは思いますが、園章には向いてない」、60番の「馴染みがないと思う」など読んでいた中で、特に、思いの強いものについては考えないといけないと思います。皆さん見方がいろいろなので、最終的には「やぐらこどもえん」は平仮名で柔らかい感じがいいのかなと思います。漢字で描いていると堅い感じもしますし。逆に、「矢」と描いてある作品は修了証書にはスキッとしてよくわかるが、今の時代には堅いなと私は思います。

#### 【委員】

私も保護者の意見を見て、作品一つ一つを丁寧に見ていただいているんだなという第一印象でした。矢倉幼稚園に愛着を持ってこれから新たにスタートするということで、いろいろな思いを持っておられるなど、すごく感じました。その中で「シンプルでわかりやすい」、「すっきりしている」、「平仮名なので、子どもにもわかりやすい」など、保護者の視点には、私も同意できるのですが、そのような中で子ども達が自分達の園章に愛着が持てるということで選べるとよいのですが、皆さんと同じで、いろいろ悩んでいます。「説明しないとわかりにくいのではないか」と意見もあるのですが、例えば、手を繋いでいる様子だとか、円であるとか、ハートであるなど、その説明も併せて、「こんなふうには作られたんだよ。」と子どもたちに伝えていけばいいのかなと思います。

#### 【委員】

今回、修了証書に出していただいているのは、すごく分かりやすく良かったです。使った時、このように見えるんだなとよくわかって参考になりました。特に、周りの黒い校章が強いので、そ

れと、真ん中にくる平仮名であったり、漢字であったりしますが、少し弱いと、周りばかりが目立つということがあり、バランスがとても難しいなと思い、見せてもらいました。上手に描いてあるものは参考にはなるけれども、やはり、すっきりとしたものが良いなと思うので、この修了証書は参考になったので、よく考えたいなと思います。

#### 【委員】

今回は、PTAの意見を取り上げていただいて参考になり、よかったと思います。131番、16番は、わかりやすさという点で、131番の方が、16番よりもわかりやすいというように書いておられます。16番は、アイデアとしては素敵だけでも、分からない人もいるのではないかとということで、こども園のイメージからいくと、PTAの方は疑問に思われているということですね。131番は交通標識のように見えるという意見がありますが、わかりやすいということでは大変推していただいているということで、131番、16番とくると、131番の方が分かりやすいのかなと思いました。7番、44番、46番のうち、44番、46番は周りを円で囲んでいますが、44番はフォントが細いため、小さくすると、訴える力が小さくなる。周りが濃い黒色なので、中に書かれている「やぐら」の文字が小さいと、どうも弱くなってしまい、ということで、44番より46番、60番の2作品かなと思いました。「やぐら」の「矢」という漢字ですが、こども園には向いていないかなという意見が気になりました。漢字の「矢」の上下に「やぐらこどもえん」の文字を描かれているのですが、「矢」が強すぎて、デザインではなく、説明のように見えてわかりにくいのではないかなと思いました。129番、35番、23番ですが、129番は「園章で新鮮」、「デザインがバランス良い」、「手を取り合っていることを想像できる」などの点をしっかり評価されているのかなと思います。35番は、少しごちゃごちゃして見え、こども園というより、どこかのワンダーランドという感じで、楽しさが強調されていて、これはこれで良いと思いますが、園章としてどうかなと思います。飾りが多くなりすぎて、シンプルさからは遠のいてしまっている。修了証書の使用例のように、小さくした時に、デザインされた思いが小さくしていくとだんだん薄れていってしまい、ごちゃごちゃしているなとしか伝わらないので、そういう意味では、129番の方がシンプルで思いも伝わるし、期待も込められているため、選定の評価項目の観点につながっているのかなと思います。23番は、マークは矢倉小学校と同じですが、文字は「こどもえん」のみ描かれているので、どこのこども園だろう？と疑問に思うので、この作品は難しいか

など思いました。

シンプルで、思いがこもっていて、見やすい。そして、他のマークと比べて紛らわしくない。そうすると、選定が大変難しいなと思っています。

**【委員長】**

いろいろなご意見をいただきましたが、事務局から補足説明はありますか。

**【事務局】**

特にありません。

**【委員長】**

それでは、投票を行います。別紙の投票用紙に候補とする園章の番号を記入し、投票箱に投函してください。

**【委員】**

投票の前にオブザーバーとして参加していただいている、関係人のご意見も伺いたいです。

**【関係人】**

ありがとうございます。こちらの遠い所から見ていると、真ん中の「やぐら」と書いてある作品はパッと見た時、わかりやすいです。今、ご意見があったように、周囲に細かく描かれていると、遠くから見ると、ごちゃごちゃしているように見えるんだなという印象です。矢倉小学校の校章は元々の形がスキッとっていて、賞状にした時にかっこいいんですね。私としては、シンプルなものが、後々まですぐ「矢倉だ」とわかるのかなと思っています。とにかく、矢倉幼稚園の保護者は矢倉への愛が強いです。

**【委員長】**

ありがとうございました。それでは、いろいろなご意見を踏まえて投票用紙へのご記入をお願いします。

～各委員の投票結果をとりまとめ、事務局にて集計し、ホワイトボードに点数を記載～

**【委員長】**

集計結果が出ましたので、最終確認に移りたいと思います。手順としましては、まず、投票結果を事務局から発表していただきまして、その後、最終確認をさせていただきます。それでは、事務局より投票結果の発表をお願いします。

**【事務局】**

投票の集計結果を発表します。1位が131番、14点。2位が16番、12点。3位が2作品ございまして、60番と129番、両作品とも4点。5位も2作品ございまして、7番と46番、両作品とも3点。7位が44番、2点。8位が35番と23番で、こちらの2作品は0点です。

**【委員長】**

まず、3位の候補が2作品ございますので、順位付けからさせていただきたいと思います。多数決をとらせていただきたいと思います。

<多数決にて3位、4位の決定>

**【委員長】**

ありがとうございます。3位が129番、4位が60番に決定しました。続きまして、5位も同数ですので、7番と46番の順位付けの多数決をとらせていただきたいと思います。

<多数決にて5位の決定>

**【委員長】**

ありがとうございます。5位が7番、6位が46番に決定しました。先ほどの投票結果とあわせまして、131番の作品を1位とし、最優秀賞ならびに矢倉こども園の園章に、16番の作品を2位、129番の作品を3位として、それぞれ優秀賞に選定してよろしいでしょうか。賛成の方は挙手をお願いします。

(委員全員 賛成の挙手あり)

**【委員長】**

そういたしましたら、131番の作品を1位とし、最優秀賞ならびに矢倉こども園の園章に、16番の作品を2位、129番の作品を3位として、優秀賞に選定します。

### (3)答申(案)について

#### 【委員長】

続いて、議事(3) 答申(案)について議事に入らせていただきます。ただいまの採決をもって、矢倉こども園の園章案が決定いたしました。委員会としては、この内容をもって市長あてに園章案を答申することになりますので、議事(3)では、この答申に必要となる答申書の内容を委員会で確認する作業となります。では、事務局より説明をお願いします。

#### 【事務局】

<資料3、参考資料2について説明>

#### 【委員長】

ただいまの説明について、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

(委員 異議なし)

#### 【委員長】

それでは、特にご意見はございませんので、答申書についてはこの内容でよろしいでしょうか。

(委員 異議なし)

#### 【委員長】

ありがとうございます。

### (4)今後のスケジュールについて

#### 【委員長】

続いて、議事(4)今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

#### 【事務局】

本日は長時間にわたりご審議いただきまして、誠にありがとうございました。選定いただいた園章案につきましては、12月中に委員長から草津市長あてに答申をいただきます。こちらについては、確定した答申書を郵送にてご報告させていただく予定ですので、よろしく願いいたします。

す。また、12月中に、選定結果を応募者に通知させていただいて、本人の確認が取れ次第、1月中に市のホームページに選定結果を掲載させていただく予定をしております。開園が近づいてまいりましたら、委員の皆様には郵送等で開園のお知らせをさせていただく予定をしております。スケジュールについては以上です。

#### 【委員長】

それでは、本日予定をしていた案件は以上になります。それでは、すべての議事が終了しましたので、進行を事務局へお返しいたします。

#### 【関係人】

失礼します。一言御礼申し上げます。とても、スキッとした中にやわらかいこども園の雰囲気のある素敵な園章を選定していただき、本当にありがとうございます。園に勤めて4年目ですが、よりよい保育、教育をめざして、職員が一生懸命、いろいろなアイデアや工夫をする中で、こどもたちが本当に変容していくのです。自信がなかった子が自信を持ってどんどん変わっていきます。次の世代に向けて、より質の高い教育・保育を目指して発展していくよう願いを込めて、これを深く強く受け止めて頑張っていきたいと思います。矢倉幼稚園閉園に向けて残り少なくなりました。今は仮設園舎にいますが、綺麗な園旗が2枚ありまして、1枚は式典で使い、もう1枚はとても綺麗だったので、もう今年最後だからと晴天荒天かかわらず、貼ってあるんです。その旗にシンプルな矢倉幼稚園の園章が輝いているのですが、やはり園章というものはとても大切なもので、今日決めていただいた園章に恥じないようなこども園になるように頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました。

## 8. 閉会

---

【事務局より閉会を宣言】